



手前が東院、左奥に西院



総本山善通寺の
 配置図

真言宗善通寺派の総本山は 弘法大師空海御誕生所

弘法大師空海の御誕生所である善通寺は、屏風浦五岳山誕生院善通寺といい、真言宗善通寺派の総本山で、四国八十八箇所霊場第75番札所です。

唐から帰朝した空海が長安（現在の西安市）の青龍寺を手本に、大同2（807）年から弘仁4（813）年までの6年の歳月をかけて建立しました。父の名である「善通」にちなみ善通寺と名づけたと伝えられ、高野山の金剛峯寺や京都の東寺よりも早くに建てられた真言宗最初の根本道場です。

出土した瓦などから白鳳時代の前身寺院の存在が確認されており、当初は佐伯氏の氏寺であったと推測されています。その後は、幾度か荒廃、再建をくり返しましたが、永禄元（1558）年の戦火で堂塔伽藍はすべて焼け落ちました。しかし、高松・丸亀両藩の援助により次第に復興し、現在の姿に整えられました。

江戸時代までは、善通寺と誕生院のそれぞれが独立したお寺でしたが、明治時代になって一つの寺となりました。現在は総面積約45,000㎡におよぶ広大な境内に、「伽藍」と称される東院と「誕生院」と称される西院

があり、東西二院で総本山善通寺と呼ばれています。「伽藍」は創建時以来の寺域にあり、「誕生院」にある御影堂は空海が誕生した佐伯家の邸宅跡に建っています。



重厚な造りの南大門



- 善通寺町三丁目3-1
- JR善通寺駅から徒歩約15分
- 境内は拝観自由。
- 戒壇めぐりと宝物館は8:00～17:00（有料）
- 金堂（本堂）の拝観時間や納経所は7:00～17:00
- 駐車場／有料（普通車300円）
- 問い合わせ／☎ 0877-62-0111